令和７年度事業報告書

令和７年8月１日～令和８年７月31日まで
公益財団法人チャイルド・ケモ・サポート基金

1.　事業報告

令和7年度は、小児がんや難治性小児疾患の子どもと家族のための滞在施設の環境の整備、相談支援活動のさらなる充実、また、患児やきょうだいの遊びやイベントなどの支援の充実に取り組んだ。また、「よりみち」の実施場所の拡大や実施内容の充実を図ることで、ハウスに滞在していない子どもと家族についても小児慢性特定疾病児童等自立支援事業を通して支援をした。

また、滞在施設の運営と支援活動の継続のため、安定した財源の確保を目指し、より広く多くの人に支援をしてもらう仕組みづくりにも引き続き注力した。今年は第 12 回目となるチャイルド・ケモ・ハウスチャリティーウォーク 2026 を実施し、昨年を超える 1000 人以上の方に参加いただき、活動を広く知っていただけるイベントとなった。

2．事業の実施に関する事項

【公益目的事業】

(1)小児がん等の難治性小児疾患の患児とその家族が滞在できる施設の設置・運営

①「チャイルド・ケモ・ハウス」の管理運営

【事業内容】

全国から当ハウス周辺の高度医療施設に治療を受けに来た難治性小児疾患患児とそのきょうだいを含めた家族の滞在を受け入れた。19 室の滞在室の部屋管理も実施した。付き添い生活の中で家族が安心して睡眠、食事、休息をとることができ、患児やきょうだいが楽しく過ごせる環境を整えた。

【実施期間】令和７年８月１日～令和８年７月31日

【実施場所】兵庫県神戸市中央区港島中町8丁目5－3「チャイルド・ケモ・ハウス」他

【従業者の人員】18名

【事業の対象者】小児がん等の難治性小児疾患の患児及びその家族

【実績】

滞在家族数(実数)	146 家族
滞在家族利用数(延べ)	513 家族
滞在延べ合計日数	6344 日
患児利用数(実数)	130 人
患児利用数(延べ)	485 人(日中のみ利用も含む)
きょうだい利用数(実数)	79 人
居室稼働率	92.5 %

②ファミリーサポート事業等

【事業内容】

滞在者への相談支援においては、夜間に病院から帰ってきた時や日中に休憩に戻られた時など、日常会話を通して家族にお話を聞いた。相談内容よっては時間を設けたり、場所を設けて相談を受け付けた。日々、ささいな日常会話をお聞きすることで信頼関係を築き、相談しやすい環境を整えるよう心がけた。また、当ハウス退去後の家族(ターミナル期・グリーフケアを含む)に対しても、いつでも相談ができるよう、滞在中から退居後も引き続き LINE をつながり続け、ささいな悩みや想いを吐露しやすい環境を整えた。「よりみち」があることも気軽に訪問しやすい環境となっている。家族の状況によっては、自宅訪問も行った。

また、忙しい付き添い生活の中で、家族は食事をゆっくりとる時間もなかなか取れないため、寄付でいただいた生活物品やレトルト食品等の提供、他団体とも連携して手作りの食事の提供をした。家族間の交流や家族がほっとする時間・空間の提供や夏にはハウス内で「えんにち」を行うなど、治療のことを少し忘れて家族みんなで楽しめるような季節のイベントも実施した。きょうだいに対しては、家族バラバラの生活になり寂しい思いや不安を抱えていることも多いため、保育士による遊びを通した精神的サポートを実施した。

【実施期間】令和 7 年 8 月 1 日～令和 8 年 7 月 31 日

【実施場所】兵庫県神戸市中央区港島中町8丁目5－3「チャイルド・ケモ・ハウス」他

【従業者の人員】18名

【事業の対象者】小児がん等の難治性小児疾患の患児及びその家族

【実績】

相談支援

・滞在者相談支援(延べ)

※相談内容については一人につき複数項目のチェックあり

		母	父
日常会話		888	369
相談人数(延べ)		1840	394
相談内容	患児の病状・治療	812	125
	入院・滞在中の生活	988	211
	退院後の生活	89	7
	終末期に関わること	39	19
	きょうだいの生活	102	23
	施設管理について	113	27

・退居者相談支援（延べ）

※相談内容については一人につき複数項目のチェックあり

		母	父
相談人数（延べ）		156	40
相談	患児の病状・治療	30	2
	患児の生活	27	2
	患児の進学・就労	6	0
	きょうだいの生活	22	4
	自身や家族の生活（仕事や転居など）	41	12
	終末期に関わること	9	9

支援（相談支援以外）

・滞在者支援（相談支援以外・延べ）

		患児	きょうだい	母	父
支援	あそび	326	432		
	預かり	33	113		
	食事支援	99	110	971	446
	イベント	32	57	33	12
	グリーフケア		1	23	9
	外部支援	33	63	81	60

・退居者支援（相談支援以外・延べ）

		患児	きょうだい	母	父
支援	居場所の提供	64	26	41	22
	遊び	25	50		
	イベント	8	6	14	8
	グリーフケア	14	16	106	56
	外部支援	8		19	6

・ファミリーサポートイベント実施回数／参加人数（滞在中・退居後すべて含む）

食事提供	83 回	延べ 1065 家族
ホッとカフェ	8 回	延べ110人
写真館	11 回	延べ 36 家族

美容室	2 回	延べ 3 人
さんぽ	8 回	延べ 8 家族／17 人
イベント	3 回	なつまつり 15 家族／クリスマスカード 200 通送付

③滞在環境の改善等

【事業内容】滞在環境の改善のひとつとして、滞在室のメンテナンスや改修を行った。

【実施期間】令和 7 年 8 月 1 日～令和 8 年 7 月 31 日

【実施場所】兵庫県神戸市中央区港島中町8丁目5－3「チャイルド・ケモ・ハウス」他

【従業者の人員】13名

【事業の対象者】小児がん等の難治性小児疾患の患児及びその家族

【実績】

滞在室改修工事	2室

④財源確保

【事業内容】

上記の事業の実施にあたって、その財源を確保するため、資金調達活動を積極的に行い、また、上記③の実施にあたり特定資産積立準備金等を活用するとともに、今後に備えて積み立ても行った。

【実施期間】令和 7 年 8 月 1 日～令和 8 年 7 月 31 日

【実施場所】兵庫県神戸市中央区港島中町8丁目5－3「チャイルド・ケモ・ハウス」他

【従業者の人員】13名

【事業の対象者】小児がん等の難治性小児疾患の患児及びその家族

この事業は、以下の助成金を活用させていただき実施した。

・公益財団法人東京コミュニティー財団 「こども笑顔応援基金」

・公益財団法人神戸やまぶき財団

「第26回　2025年度（前期）難病患者の支援に直接つながる費用に対する助成」

・社会福祉法人中央共同募金会 「前田和子基金　重症児等と家族に対する支援活動応援助成」

・社会福祉法人兵庫県共同募金会 「令和 7 年度　地域の子どもの福祉のための助成」

・社会福祉法人兵庫県共同募金会

「令和 7 年度　赤い羽根共同募金　社会福祉関係団体・ボランティア団体・NPO 支援事業」

（2）小児がん等の難治性小児疾患の患児とその家族を支援する団体等に対する助成

①個人助成

【事業内容】

小児がん等の難治性小児疾患の患児の治療環境ならびに QOL を改善し、患児が心身ともに健やかな日常生活を営むために、当法人が必要と認める範囲内において、助成として、滞在費の一部の減免を行った。

【実施期間】令和 7 年 8 月 1 日～令和 8 年7月 31 日

【実施場所】チャイルド・ケモ・ハウス

【従業者の人員】11 名

【事業の対象者】患児及びその家族

【実績】

減免延家族減免日数　2175日

②団体助成

【事業内容】

大阪府・兵庫県域において、小児がん等の難治性小児疾患の患児及びその家族を支援する活動（事業）を行う非営利団体に対し、予算の範囲内で事業費の一部を助成することを検討し、また、必要に応じてチャイルド・ケモ・ハウスの利用も併せて検討した。

【実施期間】令和 7 年 8 月 1 日～令和 8 年7月 31 日

【実施場所】大阪府・兵庫県

【従業者の人員】5名

【事業の対象者】応募団体

（3）小児がん等の難治性小児疾患の患児とその家族を対象とした診療所の経営

【事業内容】

チャイルド・ケモ・ハウスの運営の一環として、チャイルド・ケモ・クリニックの経営の再開の検討を行った。これまでは外来、入院、往診にて生活面も視野に入れた福祉的なサポート及び、家族のサポートも行ってきた。ただし、診療所については、2022 年 3 月末をもって管理医師が退職し、当面、休止とした。再開に向け管理医師確保と周辺病院との連携に努めている。

【実施期間】令和 7 年 8 月 1 日～令和 8 年7月 31 日

【実施場所】兵庫県神戸市中央区港島中町8丁目5－3「チャイルド・ケモ・ハウス」内

【従業者の人員】5名

【事業の対象者】小児がん等の難治性小児疾患の患児及びその家族

（4）小児がん等の難治性小児疾患の患児とその家族を対象とした相談支援事業

① 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

【事業内容】

神戸市・尼崎市より委託を受け、小児慢性特定疾病児童等自立支援事業を実施した。就園や就学、日常生活の上での困りごとなど、相談内容に関わらず様々な相談を自立支援員が受けた。また、相談事がなくても寄れる場所「よりみち」を開くことで、困りごとがあった時にいつでも相談しやすい環境を整えた。また、今年度は、神戸市内の子ども支援の関係者向けに講演も行うなど、支援者間のネットワークづくりにも注力した。

【実施期間】令和７年８月１日～令和８年7月 31 日

【従業者の人員】8名

【実施場所】兵庫県、大阪府他

【事業の対象者】小児がん等の難治性小児疾患の患児及びその家族

【実績】

年間相談件数延べ	312件
よりみち開催回数	72 回
よりみち利用者延べ	522人（神戸市・尼崎市以外も含む）

②人材育成

【事業内容】

長期療養中の子どもや重い病気や障がいをもつ子どもと家族の現状や想いを広く知っていただくための取り組みを実施している。小中学校で実施する「がん教育」や子どもと家族に関わる活動フィールドをもつ方を対象にした「あのねサポーター養成事業」、店舗を対象とした「みえてく PROJECT」などを通し、病気や障がいをもつ子どもと家族や誰もが暮らしやすい社会づくりを目指し取り組んだ。

また、ボランティア育成のためのボランティアオリエンテーション、ボランティア同士の交流を図り、活動をより良いものにするためのボランティア会も実施した。

【実施期間】令和７年８月１日～令和８年7月 31 日

【従業者の人員】13名

【実施場所】兵庫県、大阪府他

【事業の対象者】小児がん等の難治性小児疾患の患児及びその家族

【実績】

あのねサポーター養成講座	5 回
みえてく PROJECT 講座	1 回
がん教育	6 回

講演	7 回
看護実習等受け入れ	1 回
ボランティアオリエンテーション	3 回
ボランティア交流会	6 回
外部企業等ボランティア活動	11 回

③その他

【事業内容】

自立支援事業の対象年齢から外れた子どもへの継続した支援、自立支援事業の対象地域以外の入院治療中や在宅療養中の子どもが楽しめる時間の提供を実施した。

【実施期間】令和 7 年 8 月 1 日～令和 8 年7月 31 日

【従業者の人員】11 名

【実施場所】兵庫県、大阪府他

【事業の対象者】小児がん等の難治性小児疾患の患児及びその家族

【実績】

訪問支援	訪問回数 9 回 （1 人）
おへやでピッケ	3 回

(5)当法人の活動の趣旨等を広く周知していくための活動や資金調達のためのチャリティイベントの開催及び参加

【事業内容】

今年度も広くたくさんの方が参加できるチャイケモチャリティウォークを開催した。今年度で 12 回目の開催となった。多くの方に参加していただくことで、活動内容を知っていただき、また、支援の輪を広げることができるよう開催しているが、参加申込人数や当日参加人数は昨年よりも多くの方にご参加いただいた。

その他、企業や他団体が実施するイベントなどへのブース出展も行い、当団体の取り組みの紹介や寄付の呼びかけを行った。視察・見学の希望があった場合には、随時、当団体の説明や見学への対応を行った。

【実施期間】令和 7 年 8 月 1 日～令和 8 年 7 月 31 日

【従業者の人員】18名

【実施場所】兵庫県、大阪府他

【事業の対象者】公益財団法人チャイルド・ケモ・サポート基金の活動を応援していただいている個人及び団体

【実績】

・チャイケモチャリティウォーク 2026　　2026 年 6 月 13 日(土)開催

参加申込数	1301 人
参加者	1146 名
協賛団体	19 団体 （物品協賛も含む）
協力団体	19 団体

・ブース出展　17回

・視察・見学等　33回

公益財団法人チャイルド・ケモ・サポート基金の事業全体を対象に、神戸市ふるさと納税補助金　様の補助金を活用させていただき実施した。

3. 各事業年度における公益目的事業の実施状況

令和 7 年度公益目的事業の実施状況は令和 7 年度事業計画に記載された事項の取り組み事業計画に沿って公益事業を実施した。また、定款に基いた項目で事業報告に記載している。

上記「2. 事業の実施に関する事項」に実施期間、従事した職員の数、実施場所　事業の対象者と実績を報告している。

4. 運営体制の充実を図るための取組

経理的基礎を欠くことの無いよう顧問として公認会計士に経理的事務等を委託している。

少数ですが、理事とスタッフ数人については内閣府等の研修を受講した。

月1回常勤理事とスタッフ全員で全体会議を開催し、事業毎の進捗状況、方向性と課題について情報共有し、効率的で安定した公益目的事業の実施を図っている。